

研究課題番号	1-2004
研究課題名	AI等の活用による災害廃棄物処理プロセスの最適化と処理計画・処理実行計画の作成支援システムの構築
研究実施期間	2020年度～2022年度
研究機関名	名古屋大学
研究代表者名	中野 正樹

## 1. 委員の指摘及び提言概要

災害廃棄物対策を行う自治体においては、知識、経験の獲得・継承が重要な課題である。いつ起こるか分からない困難な問題にどう対応すればよいかについて、本研究は自治体の労力を大いに軽減するシステムを提案しており、災害廃棄物処理プロセスのシミュレーションシステムの構築とそれに基づいた処理向上プロセスの抽出ができた点を評価する。特に、災害廃棄物処理計画・処理実行計画のテンプレートは、災害時に有用な情報を提供することが見込まれる。AIで最適解を出す場合、自治体はその時々を決める優先度と現場の制約に応じた「最適」情報の迅速提供が望まれ、今後、汎用性の高いシステムになるよう継続的なアップグレードを期待する。

## 2. 採点結果

評価ランク：A